

教科:(数学)科目:(数学A) 対象:(第4学年A組~D組)

使用教科書: 数学A、数学Ⅱ

使用教材: 4STEPⅠ+A、4STEPⅡ+B(数研)

	指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	確率 ・確率とその基本性質 ・独立な試行の確率	<ul style="list-style-type: none"> ・確率のその性質を理解し、使いこなす。 ・確率を求められるようにする。 ・確率の加法定理を利用し、確率を求められるようにする。 ・和事象の確率を求められるようにする。 ・独立な試行の確率を求められるようにする。 	表、知 小テスト ノート	6
5月	確率 ・独立な試行の確率 ・条件付き確率	<ul style="list-style-type: none"> ・独立な試行の確率を求められるようにする。 ・条件付き確率を求められるようにする。 ・原因の確率を求められるようにする。 ・ベイズの定理について理解する。 	表、知 定期テスト 小テスト ノート	6
6月	式と証明 ・3次式の展開 ・二項定理 ・整式の割り算	(式の計算の応用として) <ul style="list-style-type: none"> ・展開と因数分解を復習する。 ・二項定理を理解する。 ・整式の割り算ができるようにする。 	表、知 小テスト ノート	10
7月	式と証明 ・分数式 ・恒等式 ・等式・不等式の証明	(式の計算の応用として) <ul style="list-style-type: none"> ・分数式の計算ができるようにする。 ・恒等式の仕組みを理解する。 ・等式・不等式の証明ができるようにする。 	表、知 定期テスト 小テスト ノート	6

教科:(数学)科目:(数学A) 対象:(第4学年A組~D組)

使用教科書: 数学A、数学Ⅱ

使用教材: 4STEP I +A、4STEP II +B(数研)

	指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
8 ・ 9 月	図形と方程式 ・直線上の点 ・平面上の点 ・直線の方程式	(平面幾何の応用として) ・内分、外分を理解する。 ・平面上での内分、外分を理解する。 ・直線の方程式を求めることができるようにする。	表、知 小テスト ノート	6
10 月	図形の性質 ・三角形の辺の比 ・三角形の外心、内心、重心 図形と方程式 ・2直線の関係 ・円の方程式 ・円と直線	・内分、外分を理解する。(既習) ・三角形の五心を理解する。(既習) (平面幾何の応用として) ・平行、垂直を理解する。 ・円の方程式を理解する。 ・点と直線の距離を理解する。	表、知 定期テスト 小テスト ノート	8
11 月	図形の性質 ・チェバの定理、メネラウスの定理 ・円に内接する四角形 ・円と直線 図形と方程式 ・2つの円 ・不等式の表す領域	・チェバの定理、メネラウスの定理を理解し、利用できるようにする。(既習) ・円に内接する四角形の性質を理解する。(既習) ・接弦定理を把握し、使用できるようにする。(既習) (平面幾何の応用として) ・2つの円の交点を求められるようにする。 ・領域の考え方を理解する。	表、知 小テスト ノート	10
12 月	図形の性質 ・方べきの定理 ・2つの円の位置関係 ・作図 図形と方程式 ・軌跡と方程式	・方べきの定理を証明でき、利用することができる。(既習) ・2つの円の関係を理解し、垂線などの作図ができるようにする。(既習) (平面幾何の応用として) ・軌跡と方程式の関係を理解する。	表、知 定期テスト 小テスト ノート	6

東京都立小石川中等教育学校

【数学A】

年間授業計画

教科:(数学)科目:(数学A) 対象:(第4学年A組~D組)

使用教科書: 数学A、数学Ⅱ

使用教材: 4STEPⅠ+A、4STEPⅡ+B(数研)

	指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
1 月	図形の性質 ・直線と平面 ・三垂線の定理 ・多面体 数列 ・数列 ・等差数列 ・等比数列	・直線、平面の関係を理解し、三垂線の定理等を理解する。(既習) ・多面体定理や立体に関する問題を理解する。(既習) (関数の応用として) ・数列の仕組みを理解する。 ・等差数列の仕組みを理解する。 ・等比数列の仕組みを理解する。	表、知 小テスト ノート	6
2 月	数列 ・和の記号 ・いろいろな数列	(関数の応用として) ・シグマの記号を理解し、利用できるようにする。 ・階差数列、和と一般項の関係を理解する。	表、知 小テスト ノート	8
3 月	数列 ・漸化式と数列 ・数学的帰納法	(関数の応用として) ・隣接した2項間、3項間の漸化式から一般項を求められるようにする。 ・数学的帰納法を利用した証明ができるようにする。	表、知 定期テスト 小テスト ノート	6